

てらどまり

1980
2/20

No.81

春を待つのは人間や植物だけではありません。
お地蔵さんもじっと春を待っているのです。

春を待つ

〈人口の動き〉 昭和55年2月1日現在 人口13,646 (男 6,605 女 7,041) 3,061世帯
()は前月比 (-9) (-14) (+5) (±0)

新潟県三島郡寺泊町役場発行 総務課編集

〈とじて保存しましょう〉

◆税を知るキャンペーン

所得税の申告には お得な青色申告を

今年からあなたも青色申告にしてみませんか。「帳簿をつけられないから」とか「うちは青色申告にする程規模が大きくないから」といった声も聞かれますが、青色申告はそれほど難しいものではなく、現金納簿を中心とした簡単な帳簿ですみます。

そのほか青色申告をする人は、税金面でもいろいろと有利な取扱いを受けることができます。また帳簿をつけることによって経営の合理化や資金繰りの役にも立ちます。

なお詳しいことは、税務署、税金相談室、または申告の際にお尋ねください。



自動車税の 住所変更届け、 もうお済みですか？

自動車（軽自動車を除く）を、お持ちの方で、54年4月1日以降、新築、転居、結婚等により今までの住居を移された方は、おはやめに下記内容を、電話かハガキでお知らせください。

- 1、内容
 - (1)登録番号
 - (2)新住所及び氏名
- 2、連絡先
 - (1)長岡市四郎丸町沖田 173番2
〒940 長岡財務事務所
 - (2)TEL(34)3111
内線 211・212

はしかは春先に流行することがよくあります。

初期症状がカゼに似ているために軽く見て、その結果病気を重くしてしまうことがあります。

春先の乳幼児のカゼには十分注意を。

〈感染の早期発見を〉

はしかは、感染して初期症状が現れるまで十一日前後の潜伏期間があります。ですから、熱が出てせきやくしゃみをし、目が充血したり目やにが出たり——いわゆる

はしか “早期発見を”

カゼに似ている初期症状

「はしかは冷やすな」と昔からいうようですが、頭部は氷のうや氷まくらで冷やした方がよいでしょう。ただし、体は冷えないようにして、快い暖かさを保ち、安静第一を心がけ、部屋の保温にも気を配りましょう。

また、発疹は皮膚の表面だけで



カゼの症状がみえたら、近所にはしかにかかっている子供はいないか、はしかの子供と接触しなかったかどうかなど、振り返ってみましょう。

初期症状が始めるころ、口中をのぞくとほお粘膜にヌカ状のぼつぼつが見られます。この時期にガンマグロブリンという注射をしてもらっておくと、はしかは軽症ですみます。

〈高熱と発疹が出たとき〉

高熱が続くと体は衰弱します。

なく、消化器の粘膜にもできて、消化力は衰えます。ですから体力維持のために、栄養があり消化のよいものを与えましょう。

〈ワクチンで予防も〉

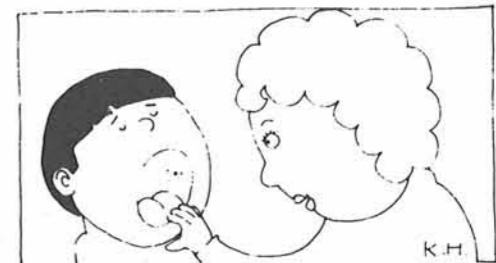
母親から受け継いだ免疫が切れるのは一歳前後ですので、このころ予防接種を受けることがはしか

全抑協寺泊支部結成!!

第二次大戦後、ソ連に抑留され、強制労働をさせられた人達が結束して、全国抑留者補償協議会の寺泊町支部が結成されました。

全抑協寺泊町支部長 宮田佐一郎(竹森)
同事務局長 吉田一男(磯町)

の難を逃れる方法です。一歳半から三歳ぐらまでの間に汗ばむ季節を避けて、子供の健康状態のよい時期を選びましょう。



功績をたたえて

特別功労者1名 功労者13名



町では、表彰条例の規定に基づいて町の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって町政振興に寄与し、また衆人の模範と認められる行為があつた者に表彰しております。

今年の表彰者は、特別功労表彰者一名、功労表彰者十三名で、建国記念日の二月十一日町役場講堂において行なわれ、中島町長から表彰状と記念品が贈られ、また外山県議会議員と和町議会議長からお祝いの言葉があり、参列者一同その功績をたたえました。



特別功労表彰者

野 深 瀧 久意知 (72歳)

現在、寺泊町農業委員として二十年在職され、農業行政の振興と町政発展に寄与されました。



功労表彰者

下曾根 木村 正 (66歳)

現在、寺泊町議会議員として九年在職され、町政発展に寄与されました。また、農業委員として五年農業行政の振興に貢献されました。



蛇塚 小林 貞 (66歳)

十七年間教育委員として教育行政の進展に寄与されました。また、固定資産評価審査委員として二年固定資産評価に貢献されました。



入軽井 山崎 宗七郎 (59歳)

現在、寺泊町議会議員として九年在職され、その間農業委員を歴任され、町政発展と農業行政の振興に寄与されました。また、固定資産評価審査委員として三年固定資産評価に貢献されました。



町軽井 旭 慶 悟 (57歳)

現在、教育委員として十二年に在職され、教育行政の進展に寄与されました。



助役に当 銀敏雄氏 (六十二歳)

中島町長は、健康上の理由で一月三十一日付で退職された足立茂久氏に変わり、荒町の当銀敏雄氏を二月臨時町議会の同意を得て、二月十五日付で発令しました。

当銀敏雄氏は、昭和十一年三月新潟師範学校を卒業後、小・中学校教諭、地区指導主事を経て、昭和四十三年より寺泊中学校長、与板小学校長を歴任されました。また、社会教育関係では、社会教育指導員、寺泊町公民館長を歴任、これからの町政執行に活躍が期待されます。

2月臨時会より

昭和五十五年第一回臨時町議会は、二月七日、八日の二日間にわたって開かれました。

この議会では、昭和五十四年度一般会計補正予算の専決処分、おなじく一般会計補正予算、大河津小学校用地造成工事の請負契約について、二級河川島崎川の指定の変更等五議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。その主な内容は次のとおりです。

専決処分

夏戸小学校校庭が降り続いた雨のため、崩壊し流出土が堆積、交通の障害を来たす一方、校庭の被害個所拡大のおそれもあるため、早急に必要な応急対策を確立し、交通の安全と校庭の保安を図るため、緊急に補正予算の必要が生じましたが、議会を招集する暇がないうえ、去る十二月二十八日付で必要な経費百九十九万円を専決処分により予算化させていただきました。この専決処分については、議会の承認を得るため提案いたしました。

なお、この財源については、町税のたばこ消費税の増収分を充当することとして、予算を調整いたしました。

民生費関係

民生費三千九百五十万三千円は、かねて懸案の白岩地域に建設を予定しておりました保育所の用地確保について、その見直しを得ましたので、この用地買収費八百二十七万二千円並びに用地造成工事費二千二百三十八万七千円及び工事用道路の借地料、立木の補償料等であります。

大河津小用地造成 工事の請負契約

去る十二月定例会に於て予算議決を得ました大河津小学校用地造成工事について、二月二日に指名競争入札を行なった結果、寺泊町公共用地造成事業建設共同企業体が、四千五十万円で落札いたしましたので、同企業体と請負契約を締結したいと思っておりますので、議会の議決を得たく提案したものです。

島崎川の指定変更

島崎川の現指定区間を、郷本川上流端から双川橋までの五千七百メートルの間を、指定からはずすことについて、県知事より意見を求められたものです。

昭和54年度 一般会計の補正

既定の予算に歳入歳出それぞれ四千二百九十五万三千円を追加し予算の総額は二十二億七千九百二十五万三千円となりました。また、町債の追加並びに変更による補正等、当面必要な予算上の措置を講ずる必要がありますのでこの補正予算を提案いたしました。

結婚相談員のご尽力により

めでたくゴールイン

若い二人に幸あれ



寺泊町、寺泊町農業委員会では、農業後継者対策の一端として農家の皆さん、嫁さん不足の解消に活

躍してもらうため、結婚相談員を委嘱し、ご相談に応じておりましたが、このたび、ご尽力によりめでたく二組のカップルが誕生、町長、農業委員長より記念品が贈られました。農業後継者が年々少なくなっていくなかで、町の農業を担う中核者となって頑張っている若い二人に心から祝福をいたしましょう。



尚、農家の皆さん、嫁さんがなかなか見つからなくてお困りの方は、ぜひ結婚相談員の方へ気軽に相談されますようお願いいたします。秘密は堅くお守りいたします。

結婚相談員

| 住所 | 相談員 |
|-----|-------|
| 郷本 | 笠原与太郎 |
| 山田 | 矢尻一雄 |
| 下桐 | 近藤博己 |
| 夏戸 | 成田与一 |
| 明ヶ谷 | 小林幹雄 |
| 碓田 | 小黒三喜治 |
| 蛇塚 | 大塚源治 |
| 金沢 | 深瀧久意知 |
| 五分一 | 長谷川五作 |
| 川崎 | 大谷地松栄 |
| 中浜 | 力石作次 |
| 田頭 | 宮田仁一郎 |
| 夏戸 | 小越善太夫 |
| 町軽井 | 樋口豊越 |
| 年友 | 五十嵐正治 |
| 高内 | 遠藤正男 |
| 万善寺 | 山田源弥 |
| 下曾根 | 山田政男 |
| 弁才天 | 竹ノ内武男 |
| 岩方 | 桑原重信 |
| 法崎 | 久住久夫 |
| 求草 | 藤田久 |
| 竹森 | 小田七二 |
| 郷本 | 室橋与平治 |
| 郷本 | 小越トジ |
| 夏戸 | 小越ムツ |
| 法崎 | 遠藤シズ |
| 荒谷 | 吉井ハナ |
| 敦ヶ根 | 沖野キミ |
| 竹曾 | 小田フミ |
| 入軽井 | 山崎百合 |

町内防火診断

要注意!! 一般住宅は80% 政令指定防火対象物は96%

昨年の秋の火災予防運動期間中に消防署と消防団で町内の飲食店、旅館、病院、工場等多数の人を収容する施設や規模の大きい建物等一〇八施設の査察と、一般住宅、一、四二二戸の防火診断を実施しました。指導内容は火気使用器具、設備、石油類の貯蔵等いずれも防火上の管理はあまりよくないようです。特に多数の人を収容する施設等は消防法等の規定により、火災予防や、いざという時の避難管理には万全な体制でなければなりません。残念ながら査察を実施した一〇八施設の九六%が何らかの違反又は改善を要するという現状でありました。

寺泊町における昨年中の火災件数は十三件でした。そのうち建物火災が三件、林野火災が十件です。又、近隣町村との応援協定にもとづいて消防署では二件の火災に出勤しました。火災件数は一昨年より三件減っていますが、寺泊町から火災を無くするため消防署では今後、火災予防指導業務に力を入れてゆく方針です。防火査察、防火診断は毎年実施する予定です。皆さんの御理解と御協力をお願いします。



年金のはなし

国民年金の保険料は 四月から三、七七〇円に

国民年金の定額保険料が、この四月から一ヶ月につき三、七七〇円に改められます。 付加保険料は、いままでどおり一ヶ月につき四〇〇円と据置きです。付加保険料に加入している人は一ヶ月につき四、一七〇円をかけることになります。 国民年金は、昭和五十一年度の法改正とその後、物価スライドにより、夫婦がともに付加保険料に加入して二十五年間かけた場合、月額一、〇六一、四〇〇円(月額八八、四五〇円)の年金が支給されるようになりました。 現在の年金額を支給し、将来に

国民年金特例納付は あと四ヶ月でおわります

いま、実施されている国民年金の特例納付の期限はことしの六月三十日ですが、それまでにあと四カ月にせまりました。 この特例納付は、国民年金に当然加入していなければならなかったのに加入しなかったり、保険料を長いこと忘れたいため、 該当者のみなさんは、期限までに計画的に特例保険料を付けてください。



ママ、アタックたのんだぞ!!

同じ部落内においても、おたがいに話し合う機会がない。若い人達との交流の場がほしい等……

こんな気持ちをもった人々が数多くおられることと思いますが、この桐友会も初めはそんな人達が、集って野球をやりだしたのがきっかけで、いまでは毎週土曜日の午後七時三十分頃になると、夫婦、独身の男性、女性が二〇名位大体育館に集って、バレーボールの練習を通じ交流を深めています。

最初は、夫婦でバレーボールの練習なんか恥かしくてと思っていきましたが、やってみるとけっこうおもしろいもので、おかげで夫婦ゲンカも少なくなったとか？。

近く公民館主催の試合が行なわれるということで、いっそう練習に熱が入っているようです。

桐友会(下桐部落)を訪ねて



町民レポート

町長を囲んで、なごやかに将来展望を聞くママさん達。

婦人大学講座



「ママさん大学」をご存知でしょうか。明るい町・心豊かな町民づくりに役立つ主婦の学習の場の提供として五十三年度からスタートした寺泊婦人大学講座の愛称なのです。毎月第三土曜日の午後、多忙な仕事や家事の中から時間を作り出した約二十五名の学級生が町公民館二階で熱心に講師の説明に聴き入り意見交換をしています。主な内容を挙げてみますと「妻・母・主婦の立場と役割」「ことばによる人間的触れ合い」「子どもの云い分おとなの云い分」「ふるさとの歴史散策」「非行少年の家庭に学ぶもの」等です。十二月には特に中



{フロ・メシ・ネル(亭主)} 話さないのは妻(母)が {フロ・メシ・カネ(子ども)} ひき出しべたのせい。(ことばによる触れ合いの講習会より)

島町長を講師に、大津津婦人学級との合同学習で「80年代の町づくりのビジョン」をテーマに現状を踏まえた上での町の将来展望について熱のこもった口調でお話を聞きました。

科学技術の進歩や世の中の変動で昔習ったことが役に立たなくなっていることも多いとききます。主婦の学習はもはや時代の要請といえましょう。一人で学ぶのは大変ですが相互教育の場で同志集い合っつて学ぶことはすばらしいことだと思えます。「お母さん、夕日はどうして赤いの？」という無邪気な子どもの疑問にも、素直に答えられる母親になりましょう。

交通安全は みんなの願い!!

昭和五十四年中に寺泊町管内で発生した交通事故の概要をまとめてみました。(以下人身事故のみ)

〔第一表〕発生状況

ここ数年減少傾向であった交通事故も横ばいとなり、発生件数は反対に増えております。

本年は、死者〇を願いたいものです。

〔第二表〕第一当事者住居地別性別発生状況

事故原因となった第一当事者が住居地別に見ると、半数以上が町外に住んでいる者が事故を起こしています。しかし、寺泊町の住民が他市町村内で起こした事故はこ

〔第1表〕交通事故発生状況

| 区分 | 発生件数 | 死者数 | 傷者数 | 備考 |
|-------|------|-----|-------|----|
| 50年 | 72件 | 2人 | 98人 | |
| 51年 | 64件 | 1人 | 82人 | |
| 52年 | 59件 | 3人 | 72人 | |
| 53年 | 45件 | 2人 | 58人 | |
| 54年 | 47件 | 2人 | 54人 | |
| 前年比増減 | 2件 | 0人 | △4人 | |
| 増減率 | 4.4% | —% | △8.6% | |

〔第2表〕



の統計上表われていません。また、最近女性ドライバーの増加から、女性による件数が二割以上あることは見逃せません。

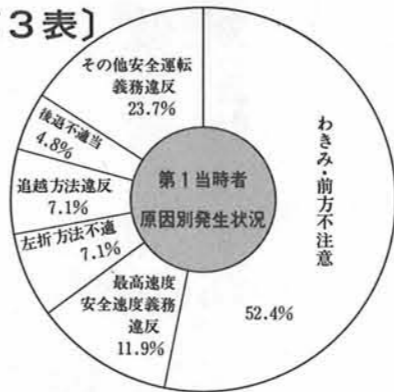
〔第三表〕第一当事者原因別発生状況

状況

わきみ、前方不注意による原因が半数以上を占めています。ちょっとした気のゆるみが交通事故につながります。

幸い飲酒運転による人身事故はありませんでしたが、依然として飲酒運転はあとを断たず、五十四年中に酒酔い、酒気帯び運転により行政処分を受けた町民が三十三人もいました。

〔第3表〕



飲酒運転は重大事故につながります。飲酒運転は絶対にやめましょう。

毎月十日は「交通安全家庭の日」交通安全の原点は家庭です。各家庭では次のことに注意し、家族が事故を起こさない、事故の被害にあわない話し合いを重ねましょう。

◎交通安全を家庭の話題に……

◎子どもの事故防止はお母さんが主役です……

◎子どもの遊びやお年寄りの外出に関心をもつ……

◎飲酒運転の防止は妻の力で……

◎各種交通安全運動、講習会、交通安全教室に積極的に参加しよう……

お互いに気をつけて、寺泊町から交通事故をなくしましょう。

運転するなら



家族そろって 加入しましょう!!

Ⅱ 交通災害共済55年度会員を募集Ⅱ

「一日一円の安い掛金」でおなじみの交通災害共済の資格期間が三月末日をもって満了し、あらためて昭和五十五年度の会員を募集することになりました。

今まで加入していた人は更新の手続きを忘れずに、また、未加入だった人はこの機会に、万一に備えて家族全員が加入しましょう。

◎会費……一人年額三五〇円

◎申し込み方法……加入申込書(三枚複写)に会費を添えて嘱託員さんを通じて申し込んでください。

◎共済期間……四月一日から翌年三月三十一日まで。

54年度の見舞金二、五〇五千元の制度が発足して二年目になりますが、町民皆さんの関心も高く、加入者は年々増加して五十四度は八、四三八人(加入率六一・六%)となりました。この中から十二月までに二〇件、二、五〇五千元の見舞金が支給されました。

見舞金の請求手続き

「医師の診断書」(役場総務課にある所定の用紙)及び自動車安全運転センターで発行する「交通事故証明書」(交付申請書用紙は役場総務課にあります)を用意して「印鑑」持参の上、役場総務課で手続きをして下さい。